

発行/平成27年10月7日
長野県木曾広域連合

第45号



きそネット

6月28日から7月5日まで、木曾文化公園で、「クラウンキャンプ木曾2015」が開催されました。

「クラウン」とは道化師のこと。人を笑わせたり、楽しませたり、時には心を癒したりします。

「クラウンキャンプ木曾」は、クラウンたちが木曾に集まり、世界的に有名な、日本のクラウン第一人者、ロネとジージの指導で、知識や技術を磨きます。

5年目となる今年は、北海道から鹿児島、遠くはシンガポールから20名のクラウンが集まりました。



今回は、アメリカ、ウィスコンシン大学から、ケアリングクラウン（心のケアをするクラウン）の父、リチャード・スノーバーグ博士をお招きし、「養護老人ホーム木曾寮」を訪問しました。

派手な衣装に奇抜なメイクをしたクラウン達の登場に驚いていた入所者の皆さんでしたが、ジャグリングやパントマイムを披露するクラウンたちに、笑顔になっていき、クラウンショーでは、賑やかな音楽に手拍子をして楽しみました。

木曾が、クラウンをはじめとする癒しの文化の発信地となるよう、木曾広域連合では、文化事業への協力、支援を行っています。

目次

広域連合議会だより	2
木曾広域連合人事行政の運営等の状況の公表	3
御嶽山噴火災害の行方不明者再捜索活動について	4

木曾広域連合の最新情報は、ホームページでご確認できます。

<http://www.kisoji.com/kisokoiki/>

木曾広域連合議会だより

平成27年木曾広域連合議会第3回定例会

開催日：平成27年8月31日(月)

- ▼認定第1号 平成26年度木曾広域連合一般会計決算の認定について ……認定
- ▼認定第2号 平成26年度木曾広域連合介護保険特別会計決算の認定について ……認定
- ▼議案第17号 木曾広域連合証紙条例の一部改正について ……可決
- ▼議案第18号 平成27年度木曾広域連合一般会計補正予算（第4号） ……可決
- ▼議案第19号 平成27年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算（第2号） ……可決
- ▼ほか ・ 全員協議会 3件

平成26年度決算の概要

上記議会で認定されました。

会計別歳入歳出別決算総括表

区 分	予算額 (千円)	歳 入 決 算 額		歳 出 決 算 額		繰越事業費 (千円)	差引残額 (千円)
		金額(千円)	収入率(%)	金額(千円)	執行率(%)		
一 般 会 計	2,927,320	2,943,231	100.5	2,868,572	98.0	0	74,658
介護保険特別会計	4,144,315	3,948,509	95.3	3,854,619	93.0	983	92,907
合 計	7,071,635	6,891,740	97.5	6,723,191	95.1	983	167,565

一般会計

歳 入	決 算 額 (千円)	構成比 (%)	歳 出	決 算 額 (千円)	構成比 (%)	主 な 歳 出 内 容 (千円)
分担金及び負担金	2,046,494	69.6	議 会 費	16,259	0.6	ケーブルテレビ機器、設備更新等 34,385 共架電柱等移設工事負担金 31,030 新ごみ処理施設計画支援業務委託料 20,563 木曾クリーンセンター補修工事 51,516 災害対応特殊救急車整備 26,876 災害復旧等 ・ ケーブルテレビ災害復旧10,961 ・ 消防デジタル無線修復等 15,228 ・ 御嶽噴火災害搜索活動経費 8,837
使用料及び手数料	641,165	21.8	総 務 費	663,494	23.1	
国庫支出金	18,658	0.6	民 生 費	285,600	10.0	
県支出金	7,412	0.3	衛 生 費	956,957	33.3	
財産収入	4,236	0.1	農林水産業費	32,779	1.1	
寄附金	1,000	0.0	土 木 費	62,547	2.2	
繰入金	9,031	0.3	消 防 費	644,849	22.5	
繰越金	88,604	3.0	教 育 費	111,966	3.9	
諸収入	126,631	4.3	公 債 費	94,121	3.3	
広域連合債	0	0				
合 計	2,943,231	100.0	合 計	2,868,572	100.0	
前年度比較	△ 783,082	—	前年度比較	△ 769,136	—	

介護保険特別会計

歳 入	決 算 額 (千円)	構成比 (%)	歳 出	決 算 額 (千円)	構成比 (%)	主 な 歳 出 内 容 (千円)
保 険 料	692,301	17.5	総 務 費	95,028	2.5	給付額 ・ 居宅サービス 1,794,758 ・ 地域密着型サービス 271,942 ・ 施設サービス 1,252,662 第1号被保険者(65歳以上)は前年度より1.5%の増となりましたが、要介護認定率は17.2%と、他圏域に比べて低く、介護予防効果が出ていますと考えられます。 サービス受給者は2.9%、給付件数は2.9%、それぞれ前年度より増となりました。 支払準備基金積立金は190,467千円となりました。
分担金及び負担金	588,334	14.9	保 険 給 付 費	3,541,899	91.8	
使用料及び手数料	60	0.0	地 域 支 援 事 業	114,056	3.0	
国庫支出金	976,423	24.7	基 金 積 立 金	59,871	1.6	
支払基金交付金	1,048,534	26.6	諸 支 出 金	43,765	1.1	
県支出金	538,592	13.6				
財産収入	569	0.0				
繰入金	0	0.0				
繰越金	93,667	2.4				
諸収入	10,029	0.3				
合 計	3,948,509	100.0	合 計	3,854,619	100.0	
前年度比較	147,175	—	前年度比較	146,952	—	

木曾広域連合人事行政の運営等の状況の公表

1. 職員数及び職員の給与の状況

(1) 職員数の状況（平成26年4月1日現在及び平成27年4月1日現在）

区 分	職 員 数		対前年比	主 な 増 減 理 由
	26年度	27年度		
連 合 長 部 局	62人	61人	△ 1人	出向終了+1 △1 退職△2 採用+1
消 防 長 部 局	65人	67人	2人	出向終了+1 採用+1
計	127人	128人	1人	

※ 特別職は含みません。

(2) 人件費の状況（平成26年度決算）

木曾郡の人口 (27年3月1日現在)	歳 出 額 (A)	人 件 費 (B)	人 件 費 率 (B/A)
29,541人	6,723,191千円	1,049,192千円	15.61%

※ 人件費は、決算における人件費の統計で、非常勤特別職、職員の給与、退職手当負担金などを含みます。

(3) 職員給与費の状況（平成26年度決算）

給 与 費	給 与 額			1人当たりの 給 与 費
	職員手当	期末・勤勉手当	計	
485,867千円	112,844千円	183,847千円	782,558千円	6,162千円

※1 給与費は特別職を含まない一般職員への支給額です。

※2 職員手当は退職手当・児童手当を含みません。

(4) 職員の平均給料月額（平成27年4月1日現在）

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
44.7歳	322,200円	376,081円

※1 平均給料月額、平均給与月額は平成27年度の給与実態調査に報告されたもので、平均給与額には、住居手当、時間外手当を含みます。

(5) 職員手当の状況（平成26年度支給割合）

区 分	特 定 管 理 職 員 以 外		特 定 管 理 職 員	
	期 末 手 当	勤 勉 手 当	期 末 手 当	勤 勉 手 当
6月期	1.225月分	0.675月分	1.025月分	0.875月分
12月期	1.375月分	0.825月分	1.175月分	1.025月分
計	2.6 月分	1.5 月分	2.2 月分	1.9 月分

(6) 職員の初任給

(平成27年4月1日現在)

区 分	月 額
高校卒	142,100円

(7) 級別職員数（平成27年4月1日現在）

区 分	職 員 数	区 分	職 員 数
1級	15人	4級	22人
2級		5級	17人
3級	64人	6級	10人

(8) 特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

区 分	報 酬 月 額	期 末 手 当 支 給 割 合	区 分	報 酬 月 額	期 末 手 当 支 給 割 合
副 管 理 者	555,000円	6月期 1.475月分 12月期 1.625月分 計 3.10月分	連 合 長	16,000円	支給なし
			代 表 副 連 合 長	12,000円	
			副 連 合 長	8,000円	
			議 長	15,000円	
			副 議 長	12,500円	
			議 員	10,000円	

2. 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間、休憩時間の状況

勤 務 時 間		休 憩 時 間	週 休 日 ・ 休 日
始 業 時 間	終 業 時 間		
午前8時30分	午後5時15分	正午～午後1時	土曜日及び日曜日 祝日法に規定する休日 12月29日から1月3日

(2) 年次休暇の状況（平成26年）

制 度 の 概 要	平 均 取 得 日 数
1年に20日付与（翌年に繰越し可能で、繰越し分を含めて最大40日）	10.2日

3. 分限及び懲戒処分の状況（平成26年度）

- (1) 分限処分 なし
 (2) 懲戒処分 なし

4. 職員の研修の状況（平成26年度）

研修区分	受講者数	研修内容
市町村職員 研修センター研修	10人	新規採用職員研修 法制執務研修 係長研修 地域広域化情報セミナー ほか
専門研修 (専門知識、技術 などの習得研修)	消防 21人	消防大学校・県消防学校入校 救急救命士養成 ほか
	木曾寮 155人	感染症予防対策研修 養護老人ホーム職員研修 認知症ケア研修 介護保険サービスに係る研修 ほか
その他	27人	緊張とトラウマからの解放エクササイズ

※1 受講者数は延べ人数です。

5. 職員の福祉及び利益の保護の状況（平成26年度）

区分	受診者数	内容
健康診断	69人	年1回（夜勤従事者は年2回、潜水士は高気圧健康診断を年1回受診）
人間ドック	106人	30歳以上の職員

6. 公平委員会に係る業務の状況（平成26年度）

勤務条件に関する措置要求及び不利益処分に関する不服申立てについては該当なし

7. 情報公開及び個人情報保護に関する条例実施状況（平成26年度）

- (1) 情報公開請求の件数及び処理状況
 ①情報公開請求の件数 3件
 ②処理状況 公開1件 部分公開2件
 (2) 不服申立ての件数及び処理状況 なし

御嶽山噴火災害の行方不明者再捜索活動について

御嶽山噴火災害の行方不明者再捜索が、平成27年7月29日から8月6日の期間で行われました。

捜索活動前には、隊員の安全確保のため、避難壕（シェルター）が設置され、捜索に際しては、捜索時間を確保するため、自衛隊のヘリコプターにより捜索隊が輸送されました。



一ノ池付近：金属探知機等による捜索



火山灰に覆われた岩間の捜索

木曾広域消防本部（延べ129名）、長野県内の消防本部、長野県警察、自衛隊などの関係機関から、延べ4,976名が活動し、1名の行方不明者が発見されました。